

笑顔で協力・進んで行動
ねばり強くやりぬき思いをこめて表現する中南っ子



「自分たちの学校を自分たちの手で!!」 児童総会



児童総会が行われました。各委員会からは、学校全体で取り組むことについて提案があり、どの発表もハキハキとした声で、分かりやすく伝えることができました。また、各学級からは今年度の目標が工夫して発表され、子どもたちが真剣に準備してきたことが伝わってきました。最後に、全員で児童会スローガンを声を合わせて読み上げ、学校全体の気持ち 하나가一つになる素晴らしい時間となりました。

開会の中で「主体性」や「表現力」を高めることとともに、「多様性、一人ひとりの違いを大切にしてほしい」ということを伝えました。互いの違いを認め合い、助け合いながら、よりよい中南小学校をつくってほしいと思います。

また、「朝のあいさつ運動」など、各委員会が主体的に活動を頑張ってくれており、大変うれしく思います。これからも、自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしていこうとする姿に期待しています。

上天草市立中南小学校 学校だより

みなみ風



令和8年5月15日 No.3 校長 中本 青志



運動会に向けて始動

初めての小学校の運動会
1年生も頑張っています



紅白の団長と副団長。各団の下級生をしっかり引っ張ってくれると思います。

運動会に向けて、全体練習が始まりました。初日は快晴で、30度に迫る暑さの中でしたが、子どもたちは張り切って練習に励んでいました。1年生も、一つ一つの動きを確かめながら、懸命にラジオ体操に取り組む姿が見られました。

これから本番に向けて、みんなで力を合わせながら練習を積み重ねていきます。

子どもたちの頑張りが空にも届き、当日もよい天気にも恵まれることを願っています。

「命を守る」大切な学習 交通教室・地震・津波避難訓練

4月後半には、2週続けて「命を守る」大切な学習として、交通教室と避難訓練を行いました。交通教室は前日の雨で運動場が使えず、自転車での実技訓練はできませんでしたが、歩行時の安全な行動や自転車の正しい乗り方、交通ルールについて学びました。植田様、久保様、そして上天草警察署の皆様、分かりやすく丁寧に指導いただき、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。



交通安全講習指導員の植田さんと久保さんに楽しく、また分かりやすくご指導いただきました。

地震・津波を想定した避難訓練では、熊本地震から10年となる節目に、地震・津波避難訓練を実施しました。雨天のため高台避難はできませんでしたが、体育館で落ち着いて行動し、素早く身を守る姿が見られました。訓練を通して、日頃の備えと助け合いの大切さを改めて確認することができました。



揺れがおさまるまで机の下に身を隠し、雨が降っていた今回は体育館に素早く避難しました。落ち着いて避難することができました。

熊本地震を通して考える思いやりの心

道徳の時間に熊本地震の体験をもとに作られた教材「つなぐ～熊本の明日へ～」を活用し、学習を深めています。実際に被災した子どもたちの思いや作文に触れる中で、命の大切さや助け合いの大切さについて真剣に考える姿が見られました。子どもたちからは、「一人一人がみんなのために行動することが大切だ」といった意風化させることなく、学びをこれからの生活に生かしていく力を育てていきたいと思えます。見も聞かれ、自分事として捉えている様子が伝わってきました。

震災の記憶を風化させることなく、学びをこれからの生活に生かしていく力を



考えを伝え合う4年生児童

「熊本地震の体験をもとに作られた教材「つなぐ～熊本の明日へ～」

校長からの言葉

ちが
みんな違って、みんないい

「みんな違って、みんないい」という言葉があります。みなさんは、一人一人ちがうよさをもっています。

「運動が得意な人」
「本を読むのが好きな人」
「絵を描くことが得意な人」
などそれぞれできることがちがいます。考え方や感じ方もちがいます。

でも、そのちがいがあからこそ、友達によさに気づいたり、助け合ったりすることができます。

大切なのは、「ちがうからだめ」と思うのではなく、「そんな考えもあるんだね」と認め合うことです。友達によさを大切にして、みんなが安心して過ごせる学校にしていきましょう。